

施策名：障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進

事業名	担当課・室名	ページ
障がい児者歯科診療体制整備事業	健康対策課	2 / 8
重度心身障がい者医療費給付事業	障害福祉課	3 / 8
障がい者福祉施設整備事業	障害福祉課	4 / 8
相談支援従事者等養成事業	障害福祉課	5 / 8
障がい者スポーツ振興事業(大分県障がい者スポーツ大会開催事業)	障害福祉課	6 / 8
国際車いすマラソン大会開催事業	障害福祉課	7 / 8
障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	障害福祉課	8 / 8

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	障がい児者歯科診療体制整備事業		事業期間	平成26年度～平成28年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
	総合評価			B	継続・見直し	事業実施課(室)名	健康対策課
実施区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進						

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	一部の障がい児者は、歯科診療の際に適応行動がとれず、むし歯や歯周病が放置されていることが多い。また、治療を受けようとしてもどこで治療を受けてよいか分からない状況にある。	事業の目的	障がい児者の口腔内状況を把握し、歯科医師及び歯科衛生士の障がい児者歯科に対する治療の質の向上を図るとともに、障がい児者施設職員に対する口腔ケア指導等により障がい児者のむし歯予防を推進する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①障がい児者口腔状況把握(健診・指導) 県内の障がい児者施設において、歯科医師、歯科衛生士が歯科健診・歯科保健指導を実施 委託先：(一社)大分県歯科医師会 ②障がい者歯科高次医療機関拡充調査委託事業 高次歯科医療機関設置拡充に向け、県内外の施設を調査し、あり方を検討 委託先：(一社)大分県歯科医師会 ③障がい児者歯科研修会開催 歯科医師、歯科衛生士等を対象とした研修会の開催 委託先：(一社)大分県歯科医師会	・障がい児者健診において、H26年度の状況を踏まえ、効率化のため健診者の役割分担を確認	総コスト	7,281	9,214	7,900
		事業費	3,281	5,214	3,900
		(うち一般財源)	1,653	1,041	1,450
		人件費	4,000	4,000	4,000
		職員数(人)	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	今後の課題	
								目標値	実績値
障がい児者施設口腔内健診者数(人)	目標値	800	1,600	2,400	2,400	b	・施設において歯科健診を行うことによる啓発並びに歯科保健体制の整備 ・一般歯科診療所に対処困難な障がい者を取り扱う高次歯科治療機関の設置の検討 ・一般歯科診療所と高次歯科治療機関との連携のあり方等の検討 ・歯科医師の障がい者歯科診療技術の向上		
	実績値	731	1,311						
	達成率	91.4%	81.9%						
	目標値	200	400	600	600				
	実績値	172	320						
	達成率	86.0%	80.0%						

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
対応困難な障がい者を取り扱う高次の歯科治療機関数	目標値	1	1	2	2	a	施設での歯科保健指導等の実施により、予防としての歯科健診に取り組む障がい者施設の増加が期待できると共に、歯科診療機関が障がい児者の歯科治療に取り組む機運の醸成が図られた。 また、高次歯科治療機関の設置に向け調査研究を行ったことにより、今後関係者間で具体的な議論を進める環境が整った。		
	実績値	1	1						
	達成率	100.0%	100.0%						

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・障がい児者のむし歯、歯周病予防の取組として、障がい児者施設における歯科健診を継続 ・健診施設数の増加 ・治療、予防処置を行う者の技術向上のための研修会についても継続 ・障がい者歯科治療における高次医療機関の設置及び連携のあり方について検討				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	重度心身障がい者医療費給付事業		事業期間	昭和 50 年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	重度心身障がい者は健常者と比べ、恒常的な医療を必要とするケースが多く、経済的負担も大きい。	事業の目的	重度心身障がい者の医療費に係る経済的負担を軽減する。
-------	---	-------	----------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①重度心身障がい者の医療費に対する助成 医療費給付事業を行う市町村に対する補助				総コスト	1,026,658	1,013,639	1,016,185
				事業費	1,025,658	1,012,639	1,015,185
				(うち一般財源)	1,025,658	1,012,639	1,015,185
				人件費	1,000	1,000	1,000
				職員数(人)	0.10	0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	補助市町村数(市町村)	目標値		18	18	18		
実績値			18	18				
達成率			100.0%	100.0%				
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	市町村が助成した件数 (レセプト件数)(件)	目標値		472,744	476,712			
実績値			472,744	476,712				
達成率			100.0%	100.0%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- 医療制度の動向や他県状況等を注視し、自動償還払い制度の導入など、適宜、制度の見直しを検討

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

繰越がある場合用

別紙2-4

事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業期間	昭和43年度～平成	年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
						評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が地域で暮らし働ける環境を継続的に充実していくため、必要なサービス提供基盤の整備が求められている。	事業の目的	施設整備を行う社会福祉法人等に対して経費の一部を助成することにより、障がい者に対する福祉サービスの充実を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①障がい者福祉施設整備 障がい者福祉施設の施設整備を行う社会福祉法人等に対する補助 (国1/2、県1/4、実施主体1/4) *H26～H27完成施設：計9施設(共同生活援助(グループホーム)5施設、就労継続支援A型1施設、就労継続支援B型1施設、福祉型児童発達支援センター1施設、障害者支援施設1施設)				総コスト	121,305	473,551	75,384
				事業費	115,305	467,551	69,384
				(うち一般財源)	6,642	30,852	8,097
				(うち繰越額)	74,425	426,306	16,791
				人件費	6,000	6,000	6,000
				職員数(人)	0.60	0.60	0.60

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	グループホーム整備数(施設)	目標値	3	2	2			
	実績値	3	2					
	達成率	100.0%	100.0%					
	目標値							
	実績値							
	達成率							

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	施設整備数(施設)	目標値	4	5	3			
	実績値	4	5					
	達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・障がい者が地域で暮らし働ける環境を充実させるため、今度も引き続き整備を実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	相談支援従事者等養成事業		事業期間	平成19年度～平成 年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
					施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課	評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がい者が、保健、医療、福祉、就労、教育などのサービスを総合的かつ適切に利用できるように、障がい者相談業務を行う相談支援従事者の養成や、サービス提供者への指導を行う者の育成等が求められている。	事業の目的	障がい者の相談業務を行う相談支援従事者、サービス提供プロセスの管理を行うサービス管理責任者等の養成と資質の向上を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①相談支援従事者研修の実施 指導者養成研修(厚生労働省主催)派遣(3人) 初任者研修の実施(受講者236人)、現任研修の実施(受講者53人) ②サービス管理責任者研修の実施(受講者376人) ③強度行動障害支援者養成研修の実施(受講者221人) ④障害支援区分認定調査員等研修の実施(受講者30人) ⑤専門コース別研修の実施(4回)		総コスト	6,862	6,419	7,389
		事業費	4,862	4,419	5,389
		(うち一般財源)			
		人件費	2,000	2,000	2,000
		職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	相談支援従事者初任者研修受講者数(人)	目標値		250	250	250		a
実績値			242	236				
達成率			96.8%	94.4%				
サービス管理責任者研修受講者数(人)	目標値		370	370	370			
	実績値		389	376				
	達成率		105.1%	101.6%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	相談支援従事者初任者研修(相談支援専門員コース)受講者累計(人)	目標値		1,644	1,750	1,850		a
実績値			1,651	1,784				
達成率			100.4%	101.9%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・障がい者が安心して住み慣れた地域で暮らすことができる環境を充実させるため、今度も引き続き支援者等の養成を実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	障がい者スポーツ振興事業 (大分県障がい者スポーツ大会開催事業)		事業期間	昭和 36 年度～平成	年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
	実施区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進					
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	障がいの有無に関わらず、誰もがそれぞれの個性やニーズに応じた活動が楽しめるようなスポーツ・レクリエーションの振興と気軽に参加できる環境づくりが求められている。	事業の目的	障がい者のスポーツを通じた社会参加を促進する。
-------	---	-------	-------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況				コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①障がい者スポーツ大会開催 (個人競技)陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング (団体競技)車椅子バスケットボール、バレーボール、サッカー、ふうせんバレーボール、卓球バレー、ゲートボール、ツインバスケットボール、グラウンドゴルフ 委託先：大分県障がい者体育協会						総コスト	13,765	13,189	14,622
						事業費	9,765	9,189	10,622
						(うち一般財源)	7,565	6,839	8,436
						人件費	4,000	4,000	4,000
						職員数(人)	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	実施種目数(種目)	目標値		15	15	15		
実績値			15	14				
達成率			100.0%	93.3%				
参加市町村数(市町村)	目標値		18	18	18			
	実績値		17	17				
	達成率		94.4%	94.4%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	大会参加者数(人)	目標値		1,946	2,552	2,602		
実績値			2,502	2,638				
達成率			128.6%	103.4%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

・県内全域の障がい者の社会参加を促進するとともに、一部競技については、全国障害者スポーツ大会の予選会を兼ねているため、今後も継続して事業実施

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成27年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成28年度)

事業名	国際車いすマラソン大会開催事業		事業期間	昭和 56 年度～平成	年度	政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
						施策区分	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課		評価者	障害福祉課長 高橋 基典

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	世界最大級の車いすマラソン大会として定着しているが、参加選手数は近年横ばい又は減少傾向にある。	事業の目的	スポーツを通じて障がい者の社会参加を促進する。
-------	---	-------	-------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①国際車いすマラソン大会の開催 国内外の車いす使用者によるマラソン及びハーフマラソンの実施 (出場選手) 海外選手：14か国42名 国内選手：32都道府県190名 委託先：大分県障がい者体育協会				総コスト	55,000	55,000	55,000
				事業費	25,000	25,000	25,000
				(うち一般財源)			10,000
				人件費	30,000	30,000	30,000
				職員数(人)	3.00	3.00	3.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	今後の課題
	レース実施数(競技)	目標値		2	2	2		
実績値			2	2				
達成率			100.0%	100.0%				
ボランティア説明会開催数(回)	目標値		5	5	5			
	実績値		5	5				
	達成率		100.0%	100.0%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
	参加者数(出場選手数+ボランティア数)(人)	目標値		2,300	2,300	2,300		
実績値			2,281	2,287				
達成率			99.2%	99.4%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
今後の事業方針 ・国際大会として定着しており、引き続き開催				

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成27年度)

(評価実施年度：平成28年度)

別紙2-4

事業名	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業		事業期間	平成27年度～平成29年度		政策区分	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進
	総合評価			A	継続・見直し	事業実施課(室)名	障害福祉課

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	パラリンピック出場のための各種国際大会に参加する選手の遠征費用は自己負担となっており、経済的負担が大きい状況にある。 また、成人の障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は18.2%であり、成人の一般の実施率40.4%と比較して低い状況にある。	事業の目的	障がい者スポーツの競技力向上と普及啓発を図る。
-------	---	-------	-------------------------

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容		事業実施年度における効率化の取組状況		コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
①障がい者スポーツ特別優秀選手支援事業 パラリンピック出場が期待される優秀選手の海外遠征経費の支援 ②大分県障がい者スポーツ普及促進連絡協議会の開催 スポーツ関係者と障がい者スポーツ関係者との連携・協働体制の構築 ③地域における障がい者スポーツ普及促進実践研究事業 障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の開催 委託先：大分県障がい者体育協会	活動実施年度における効率化の取組状況		総コスト		16,128	17,450	
	・選手への補助金交付業務を大分県障がい者体育協会に依頼		事業費		6,128	7,450	
	・スポーツ体験会などの実施を大分県障がい者体育協会に委託		(うち一般財源)		1,352	2,450	
			人件費		10,000	10,000	
			職員数(人)		1.00	1.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(29年度)	評価	今後の課題
	強化指定選手数(人)	目標値			6	8		
実績値				9				
達成率				150.0%				
障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の実施回数(回)	目標値			43	100	100		
	実績値			60				
	達成率			139.5%				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果
	障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の参加者数(人)	目標値			3,569	8,300		
実績値				5,013				
達成率				140.5%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	---------------	--------	----

今後の事業方針

- 障がい者スポーツ体験会等を通じた優秀選手の発掘
- 特別支援学校の教員やスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブの関係者に対する障がい者スポーツ研修会の開催